

協会だより



前回は復興まちづくりの話題についてお届けいたしました。今回平成27年新春号は区画整理と公益事業についてお届けします。

公益財団法人 福島県区画整理協会 発行人 / 遠藤 光一

「県土の復興 震災をバネにしたコミュニティのまちづくり」

公益財団法人 福島県区画整理協会 理事長 遠藤 光一



新年あけましておめでとうございます。

皆様には日頃より当協会運営に、ご理解・ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

当協会は昭和29年に16市町参加の下土地区画整理連合会が発足し、その後昭和36年に財団法人福島県区画整理協会設立され、一昨年の平成25年7月1日に公益財団法人に移行しました。

これまで、都市計画に関する調査研究、土地区画整理事業等に関わる諸業務の受託・支援、普及啓発及び技術者の養成等に取り組んでまいりましたが、公益財団法人への移行後の新たな目標として、当協会がこれまで培ってきた豊富な経験と専門的な技術を生かし、被災地の「復興土地区画整理事業」や原発事故避難者の「復興公営住宅」の良質な宅地整備に積極的に携わるとともに、引き続きインキュベータ的な「地域づくり活動支援」、身近で楽しいまちの空間を知っていただく「だいすきなふくしまの街かど」写真コンテストなど、公益目的事業の推進を積極的に展開しているところです。

特に、東日本大震災から4年を経過しようとする中で、原発事故により未だ12万人余の避難者がふるさとに帰還できないなど、一日も早い安定した住まいの確保こそが復興の第一歩であると再認識し、県の最重要課題である復興公営住宅の整備を、現在21地区(約2,000戸)において基本設計から工事監督までを受託しています。整備にあたっては、関係機関との緊密な連携と心が和むコミュニティを醸成する街区デザインを提案するなど、被災地であるからこそ、被災地の技術者の使命として具体化していこうと思えます。

甚大な自然災害において、先人は厳しい時代を耐え、その集団の力で再生する知恵と仕組みを蓄えてきました。被災地に笑顔が戻ることを当協会の大きな目標として今年も協力会社等と一丸となって進めてまいります。

また、県内の土地区画整理事業においても、土地価格の下落等当初の計画と乖離してきている中で大半が収束時期を迎えその経営に厳しいものがありますが、丁寧かつ着実に市町村、組合を引き続き支援してまいります。

人口減少時代を目前にして豊かで安心の出来る成熟社会は精神的なよりどころ、即ち、コミュニティのまちの設えこそが、物から心へ、文明から文化に回帰するこれからのインフラのあり方と信じて疑いません。

今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

平成27年 元旦

★ 第3回「だいすきなふくしまの街かど」写真コンテスト作品大募集です！

平成27年1月13日～5月15日までの募集期間中、あなたのだいすきなふくしまの街かどを撮影してご応募ください。お待ちしております。

★ 地域づくり活動支援事業の実績です

平成26年度に地域づくり活動支援金を7つの地域団体の方々にご活用いただきました。来年度も皆様にたくさん活用して頂けたらと思います。

当協会の受託支援業務状況についてご紹介します。

①被災市街地復興土地地区画整理事業関連

①-1 新地駅周辺復興事業：津波復興事業区域の仮換地指定実施

発注者支援業務として新地町現地事務所を設け、土木請負工事の施工に必要な監督業務の支援（県内の復興まちづくりで一番進んでいます。進捗状況は当協会HP無人ヘリ動画でも確認できます。）

①-2 富岡駅周辺曲田地区：換地計画作成準備の事業再開及び事業再構築支援

（津波被災により一時中断した個所の再開で、富岡駅周辺のまちづくりです。）

②いわき地域・県中地域

②-1 平南部第二地区【公共施行】

②-2 常磐関船地区【組合施行】

②-3 須賀川山寺地区【公共施行】

上記3地区の換地計画準備

②-4 中谷地地区【公共施行】：換地計画縦覧

③会津地域

③-1 喜多方市御清水地区沿道整備街路事業の事業計画準備

（喜多方市役所前の土地地区画整理事業の一部を取り入れた街路事業です。）

となっており、各地区事業完了に向け着実に進展しております。

又、福島県土地地区画整理組合連合会(当協会が事務局)の行事は、昨年(2014年)の11月13日と14日の2日間で新潟市鳥屋野大島土地地区画整理組合を視察研修し、業務代行方式及び高減歩での組合事業運営に関して活発な意見交換を行いました。

今後の協会事業展開としましては

① 浜通り地域の復興まちづくり支援

② 地域づくり活動支援、市町村のまちづくり事業への展開を重要課題として取り組んで参りたいと思います。

福島への復興に向け、いろいろと課題山積でしばらくは大変な時期が続きますが、まちづくりの相談は随時OKですので気軽に立ち寄りください。

本年も土地地区画整理事業を始め、県復興公営住宅事業の加速化向上を図るよう、誠心誠意努力する所存ですので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業課長 柳沼 潤一



協会トピックス

「福島県区画整理協会平成26年の10大ニュース」ご覧くださいませ



- ① 藁谷理事長の後任に遠藤理事長就任（「月曜日が待ち遠しい職場づくり」スタート）
- ② 復興公営住宅21地区（約2,000戸造成）受託（用地問題等で関係者連携の場創設）
- ③ 復興公営住宅整備加速化に向けた協力会社との連絡協議会（ベクトルと課題の共有）
- ④ 県代行大玉村復興公営住宅の造成設計工期短縮（やれば出来る!! 1カ月工期短縮）
- ⑤ 協会の体制強化（新地町現地事務所発足、いわき事務所増員、まちづくりプロ2名補強）
- ⑥ 地域づくり支援事業募集多数、全て採択（インキュベートまちづくり7地区決定）
- ⑦ 「だいすきなふくしまの街かど」写真コンテスト好評（331点応募、カレンダー完成）
- ⑧ 新地駅周辺まちづくり着実に整備（復興土地地区画整理・津波復興拠点整備工事着手）
- ⑨ 「がんばろう！」膨大な業務量に対応（一般職員に「元気・勇気・やる気手当」支給）
- ⑩ 10年ぶりの新大卒技術職員内定（まちづくりは人づくり、まちづくりスキルアップ）

編集後記

当協会では今回、HPのシステムをリニューアルしました。皆さんに最新の情報をお届け出来るよう、職員が情報をUP出来る様になりました。是非ご覧くださいね。

これから冬本番！雪道や凍結路等の運転にはくれぐれもご注意ください。本格的な寒さに向かい乾燥する季節でもありますので、風邪など引かないようご自愛くださいませ。



発行 / (公財) 福島県区画整理協会

〒963-8014

郡山市虎丸町6番16号

あいおいニッセイ同和損保郡山第一ビル

TEL : 024-921-5000 / 921-5027

FAX : 024-921-8383

URL / <http://www.fukushima-kukaku.or.jp>

